

平成25年度 青壮年教職員夏季合同研修会実施報告

- 1 主催 愛媛県教育研究協議会
- 2 期日 平成25年7月25日(木)～26日(金)
- 3 会場 エスポワール愛媛文教会館
- 4 参加者 165名(壮年部105名 青年部60名)(旅費・宿泊費は本部が負担)
- 5 目的 組織局の親和提携を深め、会員相互の連帯意識の高揚及び組織活動の活性化を図る。
- 6 研究主題 「組織の活性化を求めて」
- 7 日程

1日目午前 壮年部研修 81名(壮年部 81名) 9:30～ 壮年部受付
10:20～12:00 壮年部長挨拶 瀬川 哲伯 壮年部長
壮年部研修演題「メンタルヘルスについて」



講師 四国中央市立土居小学校 教頭 西 博文 先生

1日目午後 全体会 139名(壮年部 82名、青年部 57名) 12:30～ 青年部受付

13:15～13:30 開会式 開会挨拶 遠藤 敏朗 組織局長



13:30～14:30 問題提起

壮年部 近藤 近江 教諭(西条市立氷見小学校)

壮年部 二宮 研一 教諭(大洲市立肱東中学校)

青年部 高田 晶子 教諭(愛南町立一本松小学校)

14:30～15:20 グループ討議(15グループ)



15:35～16:05 全体会

16:05～16:35 指導助言 遠藤 敏朗 組織局長

17:20～19:30 夕食懇談 83名(壮年部36名、青年部46名、組織局長)

2日目 講演 129名(壮年部 76名、青年部 53名、)

9:30～11:10 講演 演 題 「子育ては社会を立て直すキーワード」

講 師 指定障害者支援施設 希望ヶ丘 施設長 越智 孝道 先生

11:10～11:20 閉会式 閉会挨拶 中山 満喜子 組織局次長



8 成果と課題(アンケートより)

- ・開催時期、場所・・・「夏季休業の最初の方という日程だったので参加しやすかった。」「時期、会場ともに適切である。」等、適切との意見が多かった。「中学校県総体と重なっているので、時期をもう少し後へずらしてほしい。」との意見もあったので次年度に生かしたい。(7月31日～8月1日の実施で検討している。)
- ・問題提起・・・「一人一役、シーウォークなど地域の特性に合わせて活動を工夫していることが分かり参考になった。」「期限付採用教職員のための勉強会が新鮮だった。」等、特色ある活動が魅力的な発表で好評だった。
- ・グループ討議・・・グループの人数を減らし、3色の付箋を活用したことなどにより、活発な話し合いが行われた。「グループメンバーが皆意欲的で、この会に来なかったら会えなかった人と話ができてよかった。」「色々な立場の人と意見交換ができて勉強になった。」等、15グループとも、充実した討議が行われた。
- ・全体会・・・「一人一役がうまく回れば会員意識が高まるのではないかと。」「他支部も巻き込んで活動したい。」「魅力的な活動が多いので、子づれOKも考えたい。」「参加人数の支部枠をなくしてはどうか。」「研修会要項を折り込みチラシのようにインパクトのあるものにしてはどうか。」「この研修会に年休で来ている参加者が多い。出張で参加できるようにしてほしい。」等の意見が次々に出され、活発な協議が行われた。
- ・講演・・・「具体的でとてもリアリティーのあるお話で、励まされました。」「親としての自分を振り返った。愛することの大切さを改めて感じた。」「『子どもは過去を積み上げて生きていく。子育ては親育て。子どもに育てられて生きている。この子らを世の光に。』という越智先生の言葉が心に残っています。」「目の前の子どもたちがしっかりと幸せを感じて大人になれるようがんばります。」「『人が生きていく以上問題はあ。どのような対応をするかが大切。』越智先生のお話に聞き入りました。」等、感動の声が多く寄せられている。
- ・壮年部研修・・・「午前中の壮年部研修と合同研修をこの二日間で行う日程をこれからも続けてほしい。」「メンタルヘルスについての自己診断が参考になった。興味ある講演内容だった。」「自分の現状を見直すきっかけとなった。」「思いやりのある(健康を気遣っていただく)内容がうれしいです。」等の声が多く寄せられており、大変好評であった。

